

若草山から最短ルートで 南にそびえる高取山へ 2017.5.16.

崖下の周囲から まるで取り残されたかのように残る不思議な谷筋
すり鉢型で残る「車集落の農地」を横断して、高取山へ



若草山から眺める 左:高取山 右:須磨アルプス 馬の背・横尾山

眼下には 人工的で不思議なすり鉢型地形で残されている妙法寺「車集落の農地」が広がっている

1. 若草の住宅地の南 不思議なすり鉢状の地形の「車集落の農地」 その正体は???

周囲の開発から取り残されたかのように いつも気になっている地形のご紹介です

また この地形を横断して高取山へ登れば、高取山への最短コース 楽しい散策コースです



若草の丘の南 南北を崖で挟まれ、東西に広がる人工的に作られたと思える不思議な地形がある。

須磨の海岸を東西に連なる高取山から馬の背・横尾山の須磨アルプスを眺める私の住む若草の丘

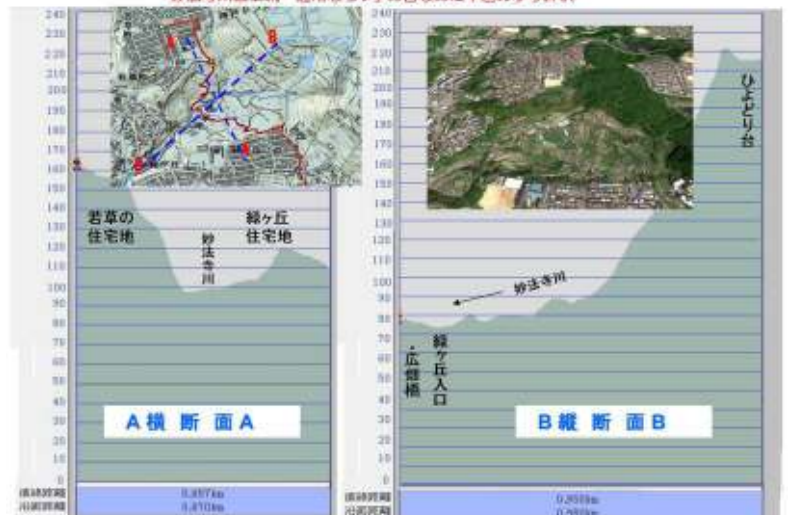
その南の直下崖下に周囲になじまぬ不思議な人工的な地形?と思える周囲からまるで取り残されたかのようにすり鉢状の地形の「車集落の農地」がある。

東西に広がるこの農地の南北側には急な崖となっていて、北側の崖の上には車集落・若草の住宅地が広がる丘。南側の崖の上には緑ヶ丘の住宅地が広がっている。、両側を崖で挟まれた農地の中央を北東から南西へ 妙法寺川の最上流が小さな谷川となって 地形に合わせながら、少し蛇行して流れ下る。

この農地部は なだらかではあるがでこぼこの傾斜地で、いくつにも乱雑に区切られた農地が東西に広がっていて、川に沿って南西側から北西の端まで伸びる本道と農地の中央部 川から北西へ車の集落へがけを登る道があるだけで、あとはそれ

周りに合わせぬ不思議なすり鉢状人工地形?? 車集落に隣接する妙法寺川沿いの農地

妙法寺川の上流 通常ならV字の谷なのに平野のすり鉢状



その農地を区切る畦道がいくつもめぐらされている。

周囲の丘や山を切り開いて造られたニュータウンが広がる中で、ここだけが 区画整理もされず、昔の田舎の記憶をそっくりそのまま、とどめているような農地が広がっているのです。



妙法寺地区は小さな山や丘が入り組んだ複雑な地域であることを考えると、元々は狭いV字の谷筋が切り開かれたのではないかと推察されるのですが、なんとも不思議な地形。私はたたら山里を思い浮かべながら、なんの根拠もなく地形の面白さから、ここはきっと昔に切り開かれ、多くの人が住んでいた場所。それが、また、農地に戻っていると勝手に思っている。

この地に住みだして、30年を超えているのですが、いつも気になる場所で、時々崖下に降りて、周囲を眺めては、それこそ箱庭みたいな農地散策を楽しんでいる。

また、私の住む若草山から正面に眺める高取山へは、この崖下に降りて、まっすぐこの農地を横断して、緑ヶ丘へ登れば高取山への最短コース。でも 通常は崖を降りる道がないので、コの字型に迂回するため、一度住宅の西側を走る神

戸・三木線を南に下って、緑ヶ丘の西の入り口から緑ヶ丘へ入り、緑ヶ丘の中央部高取山の山腹に取り付ける野路山公園登山口から西六甲全山縦走路に入り、高取山へ登る。

このすり鉢状の農地を横断して緑ヶ丘へ登れば、高取山への最短コースになり、この播鉢状地形の農地の散策では周りを眺めながら、緑ヶ丘への登り口がないかと探すのですが、今までよう見つけませんでした。

昨年 神戸新聞の報道から このすり鉢状地形周辺のいくつもの谷筋が、幕末 神戸開港を支えた亜炭の採炭地で、公開された絵図や地図からこの谷筋もその一つで、採炭地の中心的な場所と知れました。

かつての「たたら鉄山」がそうであったように、この谷筋にはいくつもの採炭坑口とともに、川筋の丘や山が切り開かれ、亜炭が採取されるとともに 諸施設が立ち並んだイメージされ、その痕跡が今の地形となって残っているのでは??

イメージを膨らませ、山裾に沿って 急に崖が伸び、すり鉢状の段々に複雑に入り組んだ平地が広がっているこの不思議な地形を一人なんとなく理解できたと。



参考 幕末神戸の街に炭鉱 !! 神戸開港と密接に関係した「幻の神戸石炭」

高取山北麓 車・妙法寺の石炭 幕末神戸開港に一役 !! 寄港する外国蒸気船の石炭供給基地

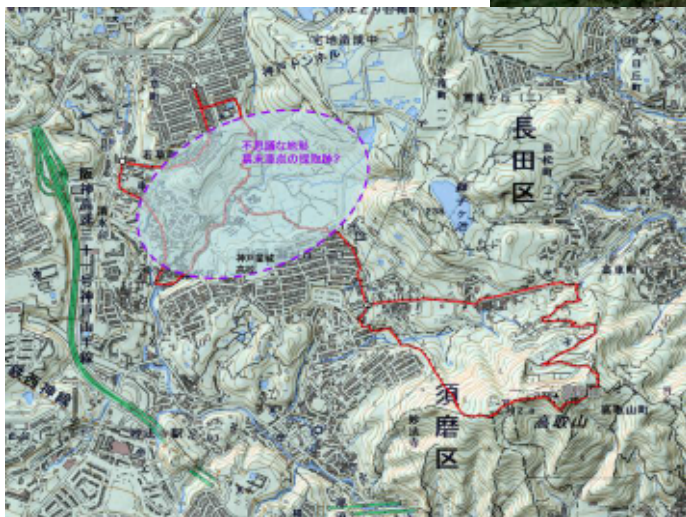
<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1604kobesekitanweb.pdf>

2016.3月12日 神戸新聞の記事より

今年になって、偶然この「車集落の農地」の畦道から南の緑ヶ丘へ横断して、崖の上へ直接登れる畦道ルートがあることを知り、ぜひ 近いうちに 若草山からこの農地を横断する最短コースで 高取山へ登ろうと。

特に意味もないのですが、1/25000の地図を眺めながらこの最短コースに興味津々。

ちょうど真向いの緑ヶ丘野路山公園から尾根を直登する西六甲全山縦走路妙法寺登り口を登れば、私の住む若草山から高取山への最短のコースである。



2. 若草山から最短ルートで 南にそびえる高取山に登る 【1】

2.1. すり鉢平底の人家のない不思議な農地域の中を横断して 緑ヶ丘へ



若草の住宅地 若草小学校横から眺める南の高取山・須磨アルプス横尾山
この直下 藪に覆われて見えないところが、不思議な人工的すり鉢地形の車集落の農地です。高取山へはここからまっすぐ降りて、南へ行くのが、高取山への最短ルート 一度やってみたかったルートです。

5月16日の午後 若草の自宅から まっすぐ高取山へ向かって「車集落の農地」を横断する最短コースに挑戦。
最近では緑ヶ丘の東の端 風早の乗越から飛竜寺霊園の参道を登ってゆくことも多いのですが、今日は久しぶりに西六甲全山縦走路妙法寺登り口からの高取山へ登る。この道も久しぶりで 楽しみ。
若草の崖の縁にある若草小学校横から南の高取山を眺めてスタートに。



若草山から最短ルートで高取山へルート図(登山路・下山路併記) 2017.5.16.

崖下の不思議な谷筋「車集落の農地」を横断して、高取山へ



以前はここからそのまま下の段々に区切られた農園が広がるすり鉢状地形の車集落の農地へ降りられたのですが、急な崖を降りてゆくあぜ道で、今は荒廃して何回か降りようとしたのですが、降りれない。

車の集落や若草に住む人たちに何度かそれとなく聞くのですが、下からの登り道もストップされて、今はもう道がない。迂回して車の集落大歳神社の横から下りるのがよいという。。

今日も スタートに崖の上から 正面に見える高取山そして、眼下のすり鉢状の車集落の農地を眺めるために、立ってみました。迂回して車の集落大歳神社の横から下りることに。

掲載した地図にはかつてダイレクトに降りれた道順のものも記載されていますが、車の集落の中を抜け、大歳神社横から下りることにしました。。



若草山から最短ルートで高取山へルート図(登山路・下山路併記) 2017.5.16.

【登山路】 若草小横崖下旧折口-車集落迂回-車大歳神社(車集落の農地入口)- 車集落の農地横断-緑ヶ丘出口-緑ヶ丘野路山公園 高取山登山口-送電鉄塔下-高取山稜線-東峰-高取山山頂・高取神社

【下山路】 高取神社-縦走路東展望所-戻って高取神社石段下から北へ・飛竜寺霊園-風早乗越-緑ヶ丘-広畑橋-神戸三木線-若草南入口-若草 峠



若草の住宅地から、一旦西側の神戸三木線に出て車大道路から東へ車集落の中をトラバースして、集落の氏神である大歳神社の鳥居前に出る。毎年1月15日国の重要無形文化財「翁舞」が舞われる由緒ある神社である。14:20
この神社の東から崖下へ下る坂道を下ってすり鉢状の農地域に入る。

坂道の南には 馬の背・横尾山が集落越しに見え、降る坂道前方には、東に広がるすり鉢状地形の農地域部がみえ、北東若草の住宅地の東端野谷から流れ下る妙法寺川。そしてその対岸の崖上にある緑ヶ丘の星城高校の校舎が見えている。

坂を下りきるとちょうどすり鉢状地形域の中央 いわば底の部分 北東から南西へ流れ下る妙法寺川と北の崖と南の崖をつなぐみちに架かる橋。ちぐるりと見渡たして、地形を眺める。

かつて、この北の崖周辺は幕末 亜炭を採取した坑口が並んでいた場所と思うが、段々になった畑と崖になっている藪が広がっているだけで、当時の面影は全くない。



すり鉢状の農地域中央の底の部分にあたる妙法寺川の端から 南の崖 緑ヶ丘方面を眺める。【1】 2017.5.16.
今は沢山の貸農園が複雑に区切られて 階段状に広がる貸農園群が広がり、北から南 緑ヶ丘の崖の方へ農地の畔を抜けてゆ道が見える。 この道が川の南側の主な道であるが、崖下の農地の間をめぐるだけで、崖上へはでられない。



すり鉢地形の底 妙法寺川より 正面に眺める高取山 2017.5.16.

すり鉢状の農地域中央の底の部分にあたる妙法寺川の端から 南の崖 緑化丘方面を眺める。【2】 2017.5.16.

南の崖の向こう正面には どっしりと座る高取山 高取山西峰の電波塔が見える。

また、 教えてもらった身なりが丘の出口は 畦道をたどりながら 崖際をもう少し西に行ったところだと



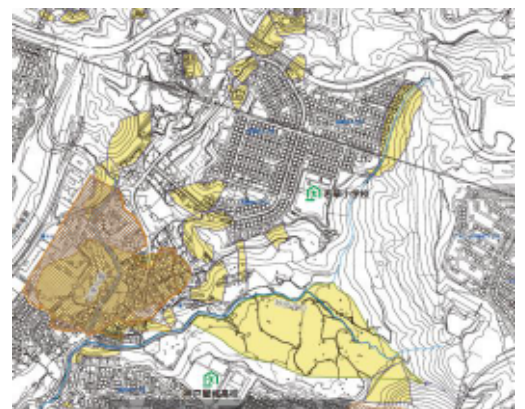
妙法寺川の橋から西の眺め 2017.5.16.
右上奥に今降りてきた坂道の上、大蔵神社の大クスノキがみえ、
この農地の出口の南西側には妙法寺駅周辺のマンションが見えている



妙法寺川の橋から東の眺め 2017.5.16.
北東から妙法寺川が流れ下り、南東には南側の崖 そしてその向こうに高取山が見える



緑ヶ丘の崖より、北側の崖の上 若草小を眺める 2017.5.16.



こんなに広い農園が広がる緑の農地が残った理由は何なんだろうか……

そんなことはないでしょうが、早くに谷筋が亜炭採掘現場として 開発されたことが影響しているのでしょうか？。

オーソドックスに考えると この地域は 周囲の山に挟まれた「落合」で、川・土砂災害の恐れる危険からか、人家を建てるのが 早くから規制されているのかもしれぬ？ いずれにせよ、広く開けた大空が広がる中 手が加え過ぎられている公園とは違い、農園地帯が残されているのはうれしい。



緑ヶ丘の崖の縁まで登り、北側を眺める 2017.5.16.

北側の崖の縁には 幕末 亜炭の採掘地だったというので、その痕跡がないか探すのですが、よくわからない。たたら跡で 山を崩した後 平地にポツリと残丘が残ったり、段々畑が幾段にもいびつな形で残ること 妙法寺川が傾斜のきつい谷川の割に両側の段々畑が広がっているこの地形そのものが、その痕跡かもしれない。



一番南の端の壁際まで、畑の畔をたどりながら歩き、星城高校の下のところから、教えてもらった通り、壁に沿って 東に歩くと、崖の上の住宅の白いフェンスのところに、小さな階段出口があるのが見えた。。そばまで 来ないと見えぬと。



緑ヶ丘の出口まで登って、北側に広がる農地をぐると見渡す。
 どう見てもこのすり鉢平底の地形は山が切り崩されて人工的に形成された地形。
 本当に時を忘れたかのような田舎の風景がよく残されていたとつくづく思う。

2. 若草山から最短ルートで 南にそびえる高取山に登る 【2】

2.2. 西六甲全山縦走路 緑ヶ丘 野路山公園登山口から 高取山へ登る



緑ヶ丘の街中を抜けて 野路山公園登山口へ向かう 2017.5.16.



緑ヶ丘の丘の住宅地に上
がって、北の鶴越から南に延
びる山裾を南へ緑ヶ丘の住
宅地をトラバースして、

高取山の山裾 野路山公
園の高取山登山口に出る。こ
の登山口には 西の須磨ア
ルプス(横尾山・馬の背)を東
に縦走して、妙法寺下って
きた西六甲全山縦走路が妙法
寺川が流れ下る谷筋 神戸三木線 妙法寺の街をクロスして、さらに東へ 登ってきてこの野路山公園の登山口とつな
がっている。

何度も登ったことのある道ですが、岩肌むき出しの急な登りが続く山道との印象が強く、最近はこの山を登るのを避け
ていて、随分ご無沙汰の登山道。今はどうなっているのか 楽しい登山道です。



高取山の野路山公園登山口 すぐ横樹木の間から須磨アルプスが見える

ここから高取山の山腹に登る西六甲全山縦走路 2017.5.16. 15:09





樹木に覆われた高取山の山体をひたすらよじ登ってゆく 2017.5.16.

久しぶりの妙法寺野路山登り口からの高取山縦走路。
かつては もっとむき出しのごつごつした登山道と
思っていたが、道が随分整備されている。
視界の開けた岩場に送電鉄塔がありすぐ横に行けたと
思いましたが、今はコースから外れている。
本当によく整備された縦走路になって、
印象が全く違う。

岩肌むき出しの荒々しい道を崖の縁によじ登ると
一気に視界が開け、周辺が見えました



樹木の間からは 送電鉄塔の向こうに
西の妙法寺周辺のマンションや阪神高連道路が見える



高取山の岩肌をよじ登る場所も 上へ上へと道は続く 2017.5.16.

この岩をよじ登ると視界の開けた崖の端 でもここを反対方向へターンしてまた樹木の中へ登山道が続きます。
崖からは西側の横尾団地の背に 東山・山の背・横尾山 西六甲の山並みが見え、一息入れる。



南西側が開け、横尾山から山の背へ急な岩場を一気に下る西六甲の縦走路がよく見えている 2017.5.16.



高取山や隣の横尾山の登山道沿いはシイやかななどの明るい樹林の中で、今は特に新緑が美しい。
一方さらに西の高倉山から旗振り山への登山道は日差しが届きにくい色の濃いヤツメガシの群生地で、随分感じが違う。
神戸は一時はげ山だったのを植林で緑を回復したと聞くので、そんな差が縦走路に荷も出ているのか…





縦走路の傾斜が段々緩くなって 高取山の山頂部も近い 2017.5.16.

登りだして 30分ほどで稜線に出る。 南側が開け、南西の須磨海岸に連なる須磨アルプスから旗振り山の西六甲の山の連なりが見え、 須磨の海がかすんでいる



南西の須磨海岸に連なる須磨アルプスから旗振り山の西六甲の山並みの手前に横尾団地の住宅地
また 左直下には 狭い谷筋を南の板宿へ下る神戸三木線沿いが見える場面も。2017.5.16. 15:37



少し場所をずらし、目を凝らすと 霞の中で うっすら 淡路島や 須磨の海岸も見えている



東へ樹林の中を抜けると高取山の頂上部
電波塔のある高取山西峰の下で、禅昌寺から岩
尾根(高取山製南尾根)を登ってきた道と合流す
る。下の板宿側の神戸三木線からもよく見える
岩尾根で、一度登ったことがあるのか？ 神
戸・三木線側の取りつきがよくわからずですが、
岩稜に登山道が付いている。また 今度探して
みよう。

西峰の山頂部には下からよく見える電波塔のほ
か荒熊神社があり、赤い鳥居がいくつも立っ
ている。縦走路は西峰の頂上部をまいて 高取神
社のある東峰へ向かうのですが、

頂上部を巻いて、東の荒熊神社の 参道から、荒熊神社の境内から西峰の頂上にある電波塔へ。



双耳峰の高取山 西峰山頂にある荒熊神社の鳥居と電波塔 2017.5.16.

西峰の頂上は電波塔が
あるのみ、樹木の間から景色
が垣間見える程度。もっと
も荒熊神社の境内に展望
台もあるのですが、今日は
電波塔を確認して縦走路
に戻ると西と東の峰の鞍
部。ここからが東峰高取
神社の神域。

縦走路のわきにいくつも
古い石碑と神域の表示板
が立っています。

先へ進むと東峰の下に出
て、左手に赤い鳥居ととも
に頂上にまつられた多く
の神々の祠へ向かう急な
石段があり、石段を登らず
まっすぐ進むと大阪湾沿

岸や神戸の街の大展望が見られる展望所。その前に高取神社の本殿がある。
今日は 久しぶりに石段を登って東峰の頂上へまわってから、高取神社へ。





若草の若草小学校横を出発点にした「若草-車すり鉢状地形の農地域-緑ヶ丘の横断 そして妙法寺野路山公園登山口からの高取山山腹登山」の高取山直線的クロスロードの最短ルート ウォーク約2時間弱で達成。(妙法寺野路山公園登山口から 高取山頂上まで約1時間) 。 一度歩いてみたかったルートの目的達成です。



東には遠く六甲の山並み・神戸の街・大阪湾が遠望 2017.5.16.



眼下に神戸長田の街 その向こうには対岸の泉南の山をかすませながら大阪湾が広がる大展望 2017.5.16.



約2時間ほど 若草から高取山へ 北から南への最短ルートwalk 達成 16:02

帰りは最近の散策コース 高取山の表参道石段を下りて、 茶店の横を北側へ折れて、高取山の北東側 飛竜寺霊園を抜けて、風早乗越から緑ヶ丘へ出て 帰る。

参道をそのまま少し東へ抜けると高取山の東側 神戸・丸山方面の街を眺める展望台があるので、迫まで行ってから帰ることに。



帰りは福生館から分かれ、北の飛竜寺霊園から風早の乗越に降る 2017.5.16. 16:06



古民家の横から北へ折れるのですが、神戸市南港や六甲の山並みが見える展望台は、ここには設置できずに行き、戻ることにする

高取山 高取神社路の南側の表参道 毎日早朝登山でにぎわう長田から登ってくる参道です 2017.5.16.



高取山山頂部東端の展望所からの展望 2017.5.16. 16:12
高取山の東 風早の乗越から丸山・長田へ下る谷筋が一望
背後には菊水山から摩耶山・六甲山までの山並みが一望



高取山山頂部東端の展望所 2017.5.16. 16:12
高取山の東 風早の乗越から丸山・長田へ下る谷筋が一望 背後には菊水山から摩耶山・六甲山までの山並みが一望される

高取山山頂部東端の展望所からの展望 2017.5.16. 16:12

高取山の東 風早の乗越から丸山・長田へ下る谷筋が一望

谷を下ってくる神戸電鉄の電車が見える背後には菊水山から摩耶山・六甲山までの山並みが一望



茶店の横で折って 北へ高取山の山腹を降り込む 2017.5.16.



飛竜寺の霊園の道に入ると 北に若草の住宅地 若草小学校が遠望 2017.5.16.

高取山の北側の山腹 飛竜寺霊園を抜けて 風早の乗越へ降りる 2017.5.16.



もう 夕暮れ 風早の乗越 久しぶりに妙法寺野路山の登り口から歩いて 新鮮でした。
 岩肌をよじ登るのがいやで、ちょっと敬遠していた道ですが、良く整備されて歩きやすい道に。
 また、若草から、高取山まで、今まで直に歩いたことのない念願の南北最短コース 新鮮で楽しいコース。
 やっぱ短いなあ・・・と。
 これからはちょくちょく 車集落の農地の道に降りてみよう満足感いっぱい。

夕日をあびながら、緑ヶ丘の坂を下る。 2017.5.16. 夕

また、不思議な人工的地形 車集落の農地
 いつも上から見下ろしてばかりでしたが、
 今回はじっくりと 周りを見ながら農園が広がる中を歩きました。

どうも、ニュータウンが広がる前の時代の痕跡が残る街道筋ではないか？

幕末 神戸開港に寄与した最短地の痕跡が狭い谷間をこんなのだかな田園地に変えたようにも思う。

田舎の田園へタイムスリップしたような田園とそのあぜ道。 これからも時々walkingの道に。車集落大蔵神社の大楠に沈んでゆく夕日に向かって ぶらぶら 畦道を若草へ

この妙法寺界隈 歩くのにはほんとうにことかかないなあ・・・ 満足の今日のウォークでした。

2017.5.16.夕 車集落の田園地を沈む夕日に向かって 帰りを急ぐ Mutsu Nakanishi

